



## みなみかた花菖蒲の郷公園の 野外彫刻（南方）

今年も見事に花が咲きそろう、多くの皆さんを楽しませた「花菖蒲まつり」も終わり、公園にはまた静かな時間が流れ始めています。

平成5年に開園した「みなみかた花菖蒲の郷公園」。そこには多くの野外彫刻が設置されています。彫刻の作者は、パリにあるフランス国立美術大学で教壇に立っている佐藤達さん（中田町石森出身）をはじめ、各国で活躍されている著名な造形作家7人。公園全体をステージとして、「太陽と緑の中の野外美術館」をモチーフに10点余りの作品が設置されています。公園が開園して16年目。公園内に点在するそれぞれの野外彫刻は、季節ごとに違った表情でわたしたちを迎えてくれます。

木々を揺らす風音や鳥たちのさえずりが響くなか、ゆつくりと彫刻を眺めてみてはいかがでしょうか。

また、公園内には市を代表する南方牛をはじめ、町内産のひとめぼれや野菜など、本物の味が堪能できる「牛トピア」があり、広々とした田園風景を望みながらゆったりとした気分が食事ができます。

【所在地】登米市南方町翌沢70番地 みなみかた花菖蒲の郷公園内  
【問い合わせ】みなみかた花菖蒲の郷公園管理事務所 ☎0220 (58) 4111

歴史博物館

## 広報ミニ展示室 30 = 宝台院御筆扇子 =



風情ある風景が扇全面に描かれています

この扇子の作者は、涌谷城主・伊達安芸宗重の次男である宗元の妻・宝台院によるものです。宝台院の父は岩出山城主・伊達弾正宗敏。いずれも伊達家一門の家柄です。扇面には新古今和歌集の中の「大江山かたぶく月は影さえて鳥羽田の面に落つる雁がね」の和歌と、大江山へと傾いてゆく月の光が、鳥羽の田に鳴きながら飛ぶガンの姿を映し出している情景が描かれています。酒呑童子の伝説でも有名な大江山ですが、和歌の世界を表現したこの扇面からは晩秋の静かな風情が感じられます。

平成20年度  
市民生き生き健康フェスティバル  
女性の乳がん死亡率ゼロを願って

もし21歳で乳がんになったら  
一人の女性の生き方が  
「希望」と「勇気」と「強さ」を贈る

## まゆーココロの星一上映会



【上映作品紹介】  
札幌市内の広告会社で働く21歳の竹中まゆは、あるときふと胸の脇にゴロゴロしたしこりのようなものが触れるのに気付いた。乳がんという病気を主軸にしながら、本作で描かれるのは、「生きる」ということ。本作品は、困難に立ち向かう一人の女性の、ある一年のココロの成長を描いた作品です。ぜひ、ご観賞ください。

- ◎日時 平成20年10月23日(木)  
①午後2時～ ②午後6時30分～(開場は30分前/上映時間2時間)
- ◎場所 登米祝祭劇場(大ホール)
- ◎入場料 【前売券】一般 1,000円【当日券】一般1,500円 小中高生800円
- ◎販売先 登米祝祭劇場
- ◎その他 2階(日本間)に託児室を設置します(利用を希望する場合は、健康推進課にお申し込みください)。
- ◎問い合わせ 市民生活部健康推進課 ☎ 0220(58)2116 FAX 0220(58)3345



「モバイルとめ」もご利用ください。  
<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービスが新しくなりました。  
[tome@entry.mail-dpt.jp](mailto:tome@entry.mail-dpt.jp) (携帯用)